

ちいさいおくすりのまじいパワー

三ちく小学校二年 小ざい そう太

ぼくのおかあさんは、「やくざいし」というしごとをしています。びょう気にかかった人におくすりのせつめいをして、まちがえないうようにおくすりをのんでもらうしごとです。ぼくは、夏休みにおかあさんのおしごとのたいけんに行つてきました。おしごとをするやっきよくには、数えきれないぐらいのたくさんのおくすりがおいてありました。

おくすりは、ぼくの体よりずっと小さくて、まめつぶくらいの大きさでした。それなのに、おくすりは、ねつがたときにねつを下げて、体をらくにしてくれたり、しんぞうがドキドキしてくるしいときくるしいのをなおしてくれたりするすごいパワーをもっていることを、おかあさんがおしえてくれました。ぼくはやっきよくで、おくすりがじょうずにのめない人のためにのみやすくする「いっほうが」というおしごとをたいけんしました。

まかいをつかっ、あさ、ひる、ばんにの  
おくすりをわけていきました。おくすりを  
まちがったのむし、たおれたり、しんでしま  
うニとがあるの聞いて、ぼくはまちがえない  
よう、つくるときはとてもきんちようしまし  
た。

ぼくは、今年のおゆえ回もインフルエンザ  
にかかりました。ねつがとても高くで、ご  
はんもたべられないくらいくるし、思いをし  
ました。が、やっきよくでおくすりをもらっ  
て、  
のんでいたら、何日かするとねつも下がり体  
もらくになっ、てきました。そのときも、「お  
くすりは、すごい力があるんだなあ。」と思  
いました。

この夏休みのおしごとたいけんや、インフ  
ルエンザにかかっ、たことでおくすりのまごさ  
をしり、ぼくは大きくなったら、もっ、とすご  
いパワーのおくすりをけんきうや、かいはつ  
をして、たっ、さんの人のやくにたてたい  
なあと思いました。